みんなねっと　福井県かれん新聞第１１４号（奇数月発行）

事務局ホッとサポートふくい内〒９１０－００２６福井市光陽２―３－３６
福井県総合福祉相談所内　℡０７７６－２４－５１３５

１）　みんなねっと福井けんかれん　　２０２６年（令和８年）１月１日

＊　障がいをのりこえるために

もくじ

・　新年のご挨拶　・・・(1)
・　ハートフル文化祭の報告　・・・(2)
・　各家族会について　・・・(3)
・　家族支援について　・・・(4)

新年おめでとうございます。何でも挑戦して、悔いのない１年を目指して、やりたいことを、やっていきましょう。　　会長　小寺清隆

県家連　家族相談研修会
日時:3月8日(日)午前10時～正午
会場:福井県社会福祉センター

講師紹介　行政書士　青木 克博氏　（あおきかつひろ）

◆青木行政書士事務所　所長
◆相続手続支援センター福井　センター長
◆株式会社スタートアップ経営　代表取締役
◆福井県行政書士会　会長
◆日本行政書士会連合会　理事
◆福井県金融広報アドバイザー　／　J-F LEC 認定アドバイザー

福井市在住　昭和４８年３月１１日生　中京大学　法学部法律学科　卒業

＊みんなねっと誌　購読　しましょう！　例会などで活用を！
＊「けんかれん新聞」に原稿や意見・質問などの投稿を！
＊家族会例会に集まって話合うのが健康にもいいです。

２）　みんなねっと　福井けんかれん新聞　　２０２６年　１月１日

ハートフル文化祭

□　12 月６日（土）、７日（日）に、ショッピングセンターベルで開催されました。あすわ会の合唱では、イッチョライ節、越前岬、四季の歌を披露しました。ダンスでも舞台でも、歌でも自分を表現するのは楽しいですね。

報告

・福井県議会議員と福井県家族会連合会との意見交換会　♥

2025年(令和7年)11月25日(火) 13:30～15:00　於:福井県議会

司会　渡辺議員

13:30　中村議員より今回の話し合いを持つ経過

13:35　小寺清隆県家族会会長の精神保健などについての報告、

13:50　各県議会議員の自己紹介を兼ねたお話　各自5分程度

～質疑応答、意見交換～

14:40　請願について

14:50　アンケート(水野さん制作)

14:55　閉会の挨拶　渡辺議員

報告　小寺会長

1　精神障害について

・不登校、いじめ、学校での友達との人間関係　学校不適応

・うつ病、統合失調症など

・その後、コミュニケーションが苦手で人間関係を円滑にすることの困難

・家族での問題点　1　日常生活でのサポートが必要

2　自立　結婚　子孫の存続

3　親の高齢化　母親も病気に

2　解決策

①　初診時の対応　医師側のチーム

②　家族支援　障害年金の増額

③　家族支援　ケアラー条例　埼玉県令和2年3月　ケアラー(介護者等)

福井県家庭教育支援条例　令和2年10月12日

3　その他　県家連ホームページの紹介

討論　各県議より質問、意見があった。

・各家族会会長より、地域の説明があった。 森広氏、三原氏、堀川氏、水野氏。

・討論で、山田氏、塩谷氏の意見があった。

・県家族会役員会　１２月７日（日）12:00～　　神明苑　　８名出席

３）みんなねっと　福井けんかれん新聞　　２０２６年　１月１日

各家族会のアンケート より紹介

こころのサロン芦山会　木下直大

1.総会 ５月 13 日 13:30 より 丹南健康福祉センターにて実施　　来賓等なし

2.市町への要望書、連携など 副会長佐々木氏が越前市精神保健福祉相談員を担っている。要望書の提出はしておらず、総会への参加等もなかった。

3.定例会の開催 毎月第２火曜日に開催できている。新しい会員様も増えてきており、こころの拠り所となりつつある。難しい話をするよりか、お互いの近況を報告し合う程度が、ちょうど良いニーズであると感じている。会員の中で助け合う、気持ちというのが芽生えてきている。定例会に参加されないというか参加できない会員様も多く、最近では、健康を崩されるケースが目立ち、会員様の高齢化を感じる。

4.こころの健康相談会 あすわ会の塩谷様や水野様に参加して頂き、定例会に混じって頂いた。アクトのことや結婚問題についてみんなで話し合うことができました。３月には、落語会を予定しています。

5.講演会など

11 月１日に赤い羽根共同募金を使って、BBQ の交流イベントを実施予定

１月上旬 新年会を開催予定

6.家族会

良い点 女性陣を中心に仲良く、拡がりをみせています。

悪い点 健康を悪くしている会員様が、結構いる。

7.その他 入会希望者の中には、周囲に知られたくない等、入会に躊躇されるケースがよくあり、助けを求めているがもう一歩踏み込めないといったかたが、潜在的に多くいると考

つつじ会　　三原信雄

・6月1日 総会及び講演会 講師 山田弘氏「病気になる前の前兆と医師の対応」

・7 月6日 家族会交流会 ラポーゼ河和田にて BBQ 18名参加。

・9月7日 家族会学習会 やすらぎにて みんなねっと」の実例を基に話し合い 16名

・10月19日 バスで研修旅行 菓子作り体験 23名 休憩時間に身の上の話し合い

・11月16日 県研修会の「親亡き後の家族支援について」の資料を基に、話し合い

いろいろ準備をして、楽しい家族会になっている。

奥越家族会　　森廣茂治

毎月20日に例会を実施している。総会、講演会、相談会を計画している。

悠々福祉家族会　　堀川正樹

例会で、いろいろな話し合い、施設の人との交流をしている。

あすわ会　　水野寿郎

・毎月の例会、その準備の役員会を実施している。市との話し合いも続けている。

若狭家族会　粟谷行男

会員は少ないが、北信越長野大会やみんなねっとっ京都の全国大会に参加している。完

家族や本人の支援について

(1)H さんの話

- 双子の妹が精神疾患を患っている。
- 妹の一人は結婚・離婚後に発症し、もう一人と 2 人暮らしをしている。
- 双子はお互いに依存心が強く、部屋の片づけが苦手。
- 貯金と退職金で生活し、午前中だけ「悠々福祉会」に通所している。
- 「自分が先に亡くなった後、妹たちを支えてくれる相談先がほしい」と語る。
- 妹は物忘れが激しく、依存心が強い。つい注意してしまい喧嘩になることがある。
- 「当事者も相談できる場所があるとよい」との意見。
- 双子の生活費は 2 人合わせて月 20 万円ほど。
- 母親の死をきっかけに発症。H さん自身も精神的に追い詰められたが、今は乗り越えて自信となっている。
- ボランティアで演奏活動を行っており、それが生きがいとなっている。
- 双子ともに統合失調症を患っており、「一緒にいたから同じ病気になったのでは」と感じている。
- 住居は H さんが建てた。・発症の原因は今も不明。
- 「悠々福祉会」職員が相談にのり、障害年金の手続きを紹介してくれた。
- 職員の人柄によっては相談しづらいこともある。
- あわら市の双子の兄弟は厚生病院に通っているが遠方のため、牛場先生より「あわらこころ診療所」を紹介された。
- 小林さんより、身体の専門医が県内に少なく県外通院を余儀なくされることや、障害を理由に医療で差別を感じることがあるとの報告。
- 医師によって対応に差があり、当たり外れを感じることがあるという意見。
- 双子は食の好き嫌いが多い。
- 「自分が亡くなった後、2 人がどうなるか不安」との声。
- 親族は高齢者ばかりで頼れる人がいない。H さん自身も他の親族の入院同意書を書いている。
- 後見人制度の利用も検討しているが、「お金がかかり手続きが面倒」との認識。
- 夫婦円満の秘訣は「妻を褒めること」と話す。
- 「自分がいなくなっても相談できる場所があれば」と願っている。
- 双子は現在 66 歳。今後は悠々福祉会や地域包括支援センターが見守ってくれるのではとの意見。
- 介護保険が適用されない間は障害支援を利用して生活しているが、介護保険が必要な状態になると B 型就労所などには通えなくなる。
- 双子の一方が介護保険、もう一方が障害支援になると、別行動になり病状悪化の不安があると牛場先生が指摘した。　　以上